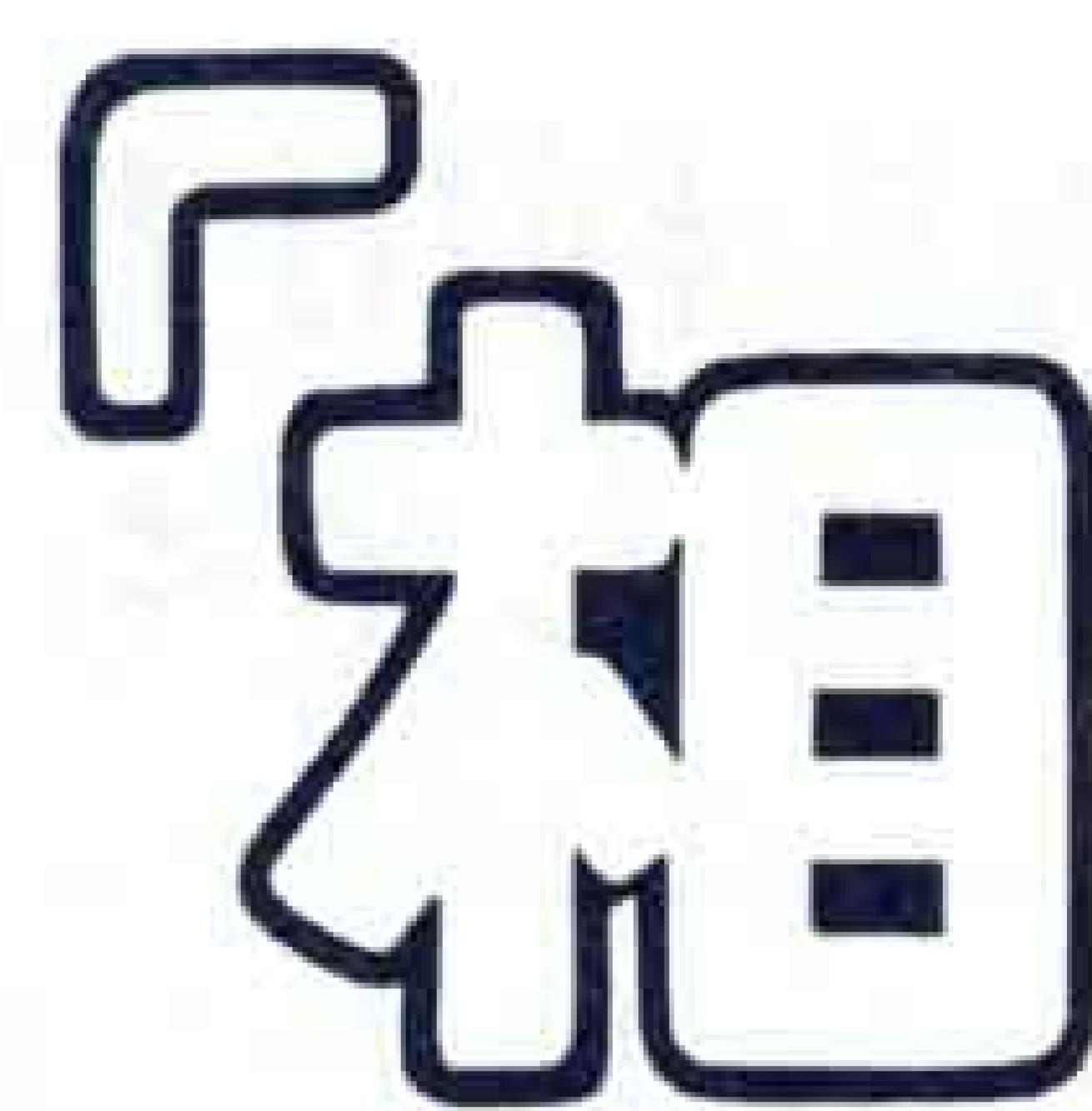


# 好評です

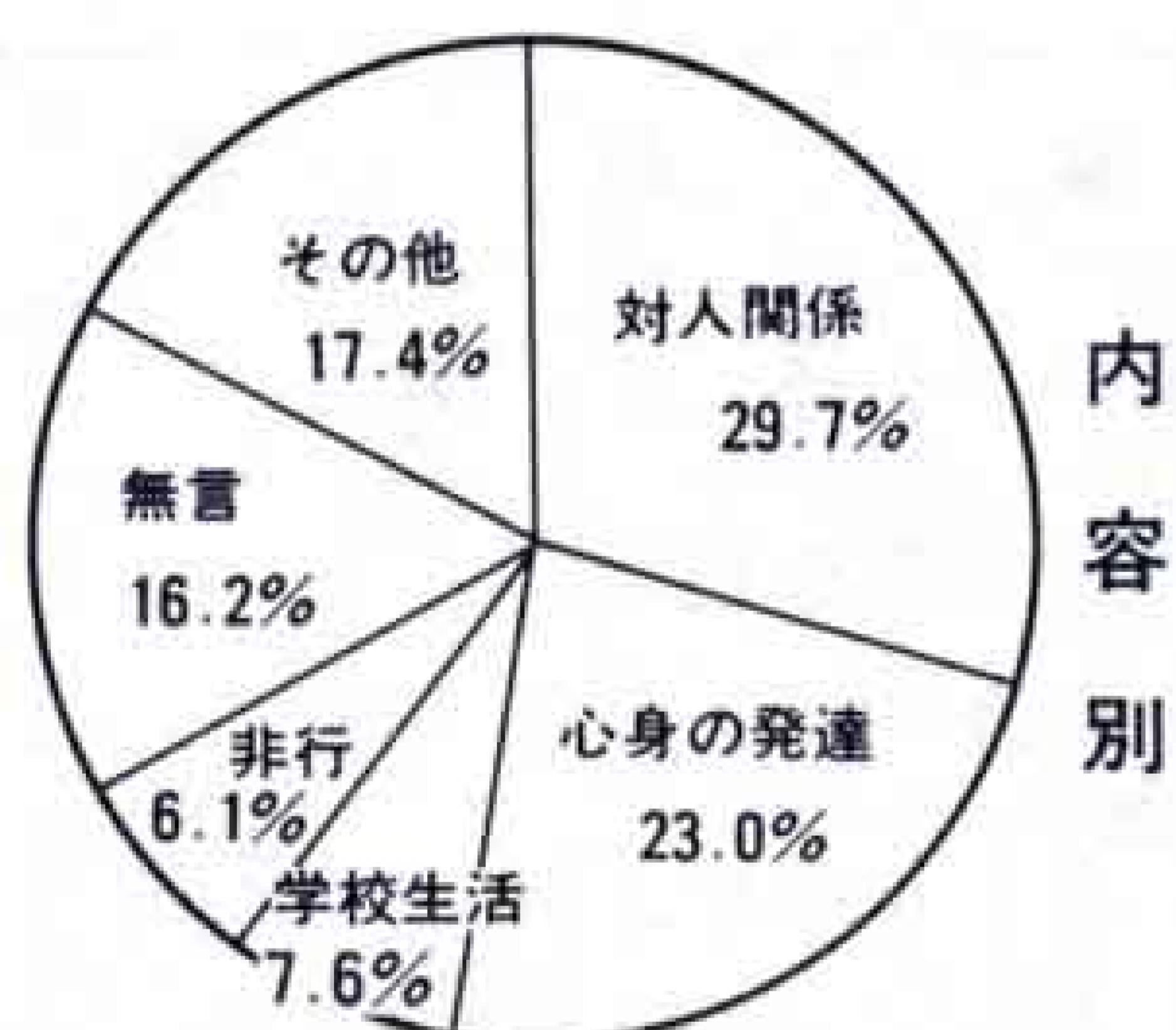
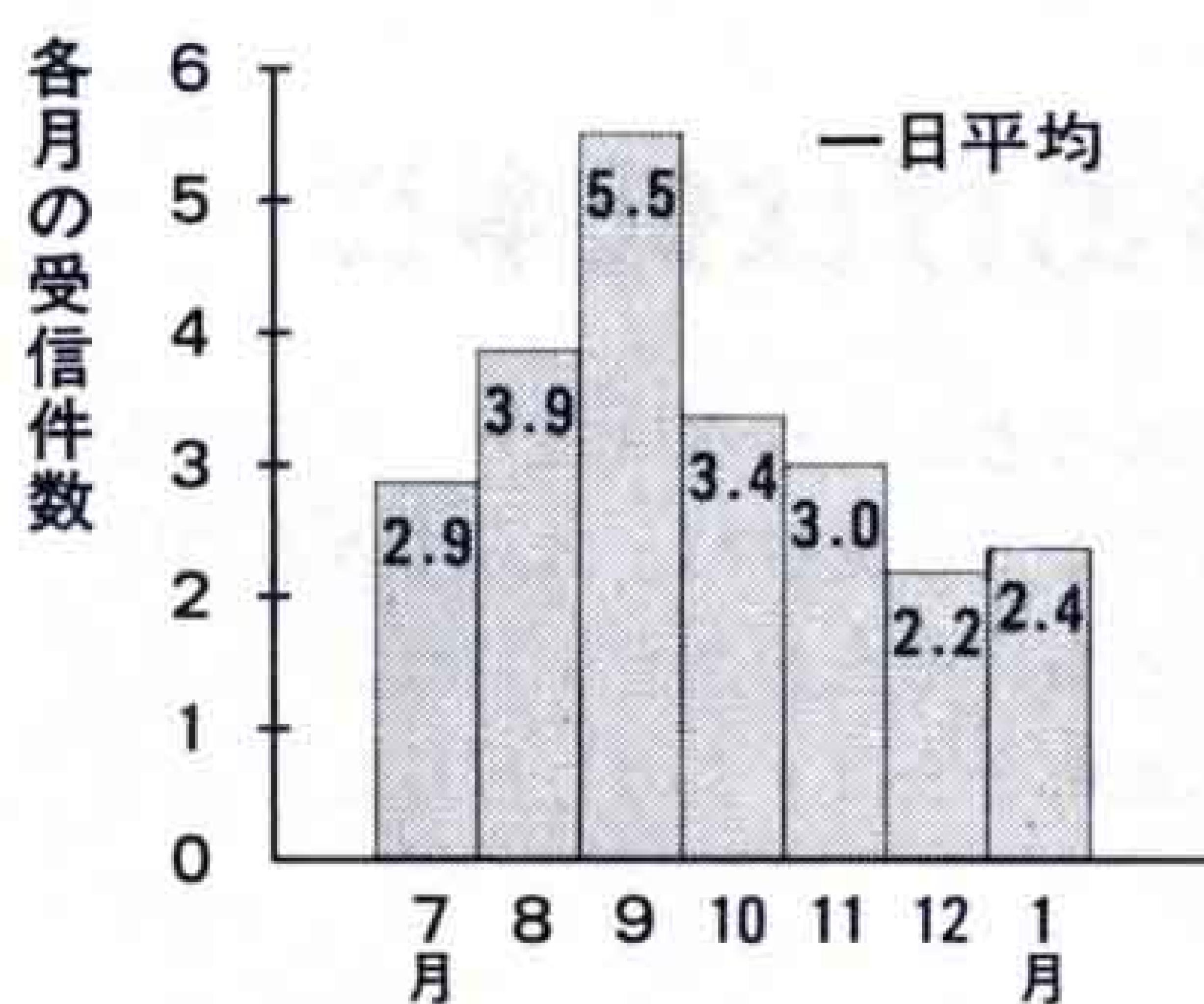


## 異性のことや非行問題など

昨年、青少年補導センター内に開設した「相談ふじ」は、相談者の悩みや心配ごとを解決する手段として、大きな成果をあげています。

「相談ふじ」には、異性問題、友だち関係、進路のことなど、小・中学生及び高校生、また保護者などから、さまざまな電話相談が寄せられています。

## 半年間で499件の相談



「相談ふじ」は、青少年の悩みや心配ごとを電話で相談に応じようと、昨年の7月、市役所西側の青少年補導センター相談所(依田原新田94)内に開設しました。すでに、県のハロー電話や県内のいくつかの市でも実施しているところはあるものの、専属の相談員を置いて実施した市は、富士市が初めてです。

電話相談には、教育経験者やボランティア活動経験者など11人が、電話相談奉仕員としてあたっています。

奉仕員は、相談者の悩みや訴えを親切に聞き、それを解決する糸口を見つける援助などをします。

また、電話だけではどうしても解

決できない場合などは、補導センター職員による「面接相談」も行っています。

### 「対人関係」が30%

開設以来、1月31日までの半年間に499件の電話相談がありました。

この内訳をみてみると、相談者の割合は、青少年が42.4%、成人が31.8%、不明が25.8%でした。

相談内容で最も多かったのは、友だちや異性問題など「対人関係」で148件。次いで、性についての悩みなど「心身の発達」が115件、「学校生活」についてが38件でした。

4月  
号は  
5

### 私の入学・入社体験

このコーナーを拡大  
提言をお寄せください

私の  
ひとこと

次回の4月5号から、この「」  
ナーチャーをさらに拡大し、皆さんの意見  
交換の場とする計画でいます。  
あなたの考えていること、意見な  
どをどしどしあ寄せください。

四月五日号では、あなたが新一年  
生として入学又は、入社した時の体  
験談を語っていただきます。皆さん  
のあたよりをお待ちしています。

△四月は、入学・入社シーズンを  
迎え、新一年生は夢と希望に胸をふ  
くらませていることでしょう。この  
一年生や家族の人たちに、自分の絏  
験が少しても役立てば……と思われ  
る人は、原稿をお寄せください。

△応募される人へ  
原稿は、三百字程度。趣旨を変え  
ないで文を直すことがあります。  
住所・氏名・年齢・連絡先を忘れ  
ずにお書きください。

広聴課。(〒417 富士市永田61の1)  
送り先は 富士市役所広報  
締切りは、三月三十日です。

# 相談ふじ

## 電話で応対

この他に「無言」が81件。無言は、深刻な相談の前ぶれとも受けとれます。

男女の比率では、男の34%に対し、女が50%と上回っています。

「対人関係」の悩みで最も多かったのが、一般と小学生で合わせて86件。

次に、中学生の24件、保護者23件の順でした。

「心身の発達」については、性の問題や身体のことなど、中学生と高校生で約70%近くを占めています。

保護者からの相談は73件ありましたが、このうち最も多かったのは「対人関係」で23件。次いで「非行」の15件、「心身の発達」10件、「学校生活」7件の順でした。

電話相談が最も多かった時間帯は、午後2時から4時まで、全体の約56%を占めています。

## 経験豊かな相談員が

家庭内暴力や校内暴力が社会問題化されている反面、孤独な青少年が増えているのも事実です。

自分の悩みを両親にも言えない、

直祐があらゆるときも出産についての知識がなく、実家も遠いものですから、市のあたさん教室が大変参考になり、よかつたです。富士山をバックにした市役所のすばらしさにも感激しました。大阪にいるあたさん富士山を見たがつて、そこで実現させてあげたいわ。新幹線富士駅の設置運動が成功するよう市民の一人として祈っています。

## 全市に愛のひと声を

話し合える友だちもいない。また、核家族化が進んでいる現在、若い親たちにとって、相談する年配者がいないなど……。

「相談ふじ」は、孤立化している社会生活の中で、青少年やその保護者の悩みなどを、社会経験豊かな奉仕員がお聞きし、それらを解決するた

## 春に青少年を守り育てる運動

春は青少年にとって、入学・進学・就職などを迎えるため、環境が大きく変化し、精神的にも何かと落ちつかない時期です。

このような時期に、地域や家族間で青少年とのふれあいを深めたり、青少年を取りまく社会環境を良くすることが大切です。

3月10日から4月9日までは、「春に青少年を守り育てる運動」。

市および警察署などの関係機関では、運動期間中の3月10日から16日までを、青少年健全育成強調週間として、愛のひと声運動や補導活動などを行い、青少年の健全育成を呼びかけていきます。

強調週間の主な事業として、全市域にわたるいっせい補導と愛のひと声運動、広報車による全市域への啓蒙活動、社会環境をよくする特別啓発活動などを行います。

青少年を非行から守るには、家族同志の話し合いはもちろんのこと、社会環境を良くすることも大切です。

地域・家庭・学校が一体となって取り組むことが必要とされています。

あなたのひと声が、青少年を非行から守ります……。

めの援助をいたします。どうぞ、お気軽に電話ください。

「相談ふじ」の開設時間は、正午から午後7時までで、日曜、祭日を除き毎日開いています。

**相談ふじ 51-3741  
ミナヨイ**



まふみ  
山脇万文さん(30歳)  
富士見台3丁目7-10

### プロフィール

大阪市城東区から、昭和55年に富士市へ。

つい最近まで市内の厚原北に住んでいましたが、現在は富士見台に新居を建て、ご主人の直邦さん、長男の直祐ちゃんの3人家族。

子育てにいそがしい毎日を過ごしています。